

授業計画（シラバス）

教育内容	基礎看護学				
科目名	基礎看護学概論	対象学年	看護科 1 年生		
単位（時間数）	2 単位（30 時間）	講義時間	28 時間	試験時間	2 時間
講師名	基幹教員	実務経験	臨床看護師		
学習目標	1) 看護学全体の主要概念である人間・環境・健康・看護について理解を深め、看護の位置づけと役割の重要性を理解する 2) F・ナイチンゲールの看護の考え方から「看護とは」を理解する 3) 看護倫理の基礎知識と倫理的意思決定支援について理解する				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1	看護学校理念 序章 1. 看護師の役割と看護独自の機能 2. 看護師の知識と判断力		カリキュラム 構造図 看護学生 A さん の事例 (バズセッション)
2	1 章 看護とは 看護の本質 役割と機能 継続性と連携		看護理論家の 看護概念 人間・環境・健 康・看護 今後の目標を レポート
3	2 章 看護の対象の理解 ホメオスタシス 基本的ニード		
4	ナイチンゲールによる近代看護の確立 F・ナイチンゲールの看護観		看護覚え書 ナースが視る 病気
5	看護のための人間論（対象論） 1. 人間は生物体・生活体の統一である 2. 生活過程の本質 3. 対象の特殊な生活過程をどのように捉えるか		科学的看護論

授業計画（シラバス）

6	病気は健康の法則に反した生活の結果である 「健康の法則」「看護の法則」		ナースが視る 病気
7	ナイチンゲールについて理解を深める		個人ワーク GW
8	映画「みとりし」鑑賞		
9	々		感想文（パソコン）
10	ナイチンゲールについて理解を深める		グループワーク
11	ナイチンゲールについて理解を深める		グループワーク
12	ナイチンゲールについて理解を深める		発表 評価
13	ナイチンゲールについて理解を深める		発表 評価 まとめ
14	3章 国民の健康状態と生活 5章 看護における倫理 7章 広がる看護の活動領域 健康と保健医療の世界的課題 ・持続可能な開発目標（SDGs）		出生率 死亡率 率 平均寿命 考えてみよう ①②事例 目標達成に向けた取り組み
15	終講試験		
教科書	看護学概論：医学書院		
参考図書	ナースが視る病気：講談社 科学的看護論：日本看護協会出版会 看護覚え書：現代社		
評価方法	終講試験 課題提出 グループワーク参加態度・発表等		